

開催月日	名 称 (開催地)
9.14 - 9.18	Int. Symp. Fusion Nuclear Technology (ISFNT-12) (Jeju Island, Korea)
9.16 - 9.19	日本物理学会秋季大会 [物性] (関西大学千里山キャンパス)
11.16 - 11.20	57th APS DPP Annual Meeting (Georgia, USA)
11.24 - 11.27	第32回年会 (名古屋大学) 本学会
2016	
10.17 - 10.22	26th Fusion Energy Conference (FEC 2016) (Kyoto, Japan)
10.31 - 11.04	58th Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics (California, USA)

こちら編集委員会です

【発表！2013年下半期の学会誌(7～12月号)で

もっとも多くダウンロードされた記事はこちら！】

本格的な寒さが身に染みる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。昨年の9月号では2013年上半年(1～6月)のプラズマ・核融合学会誌の最多ダウンロード記事を発表いたしました。今回は、昨年下半期(7～12月)に発行された学会誌の各号における最多ダウンロード記事を調べてみました。

掲載月	記事種別	題 目	第一著者 (所属)
7月号	講座	レーザー生成プラズマの新しい温度, 密度領域における物性とシミュレーション 5. レーザー加工のシミュレーション	山田知典 (JAEA)
8月号	解説	常識となっていないシース現象	河野明廣 (名古屋大学)
9月号	講座	核融合施設における放射線計測の基礎 2. 放射線計測の基礎	飯本武志 (東京大学)
10月号	解説	原子力関連施設周辺での環境トリチウムモニタリングの実際	柿内秀樹 (環境研)
11月号	講座	核融合施設における放射線計測の基礎 4. JT-60における管理測定の実状 4.1 中性子環境下におけるトカマク装置運転のための放射線計測	助川篤彦 (JAEA)
12月号	小特集	俯瞰と展望: 磁気リコネクション研究の最前線 4. 新たなリコネクション研究の芽 4.2 弱電離プラズマ中のリコネクション	西塚直人 (国立天文台)

今回は放射線計測に関する記事が多くダウンロードされています。この分野に対する一般の方々の興味関心が高いことの表れでしょうか。正確な知識が要求される場所ですので、我々の学会誌が果たす役割も重要であると思われました。また、2013年に掲載された記事のなかでの月あたりのダウンロード数のトップは、4月号に掲載された小特集「プラズマ支援燃焼の現状と展望」(Vol.89-4)でした。プラズマの実応用が増えてきたことの現れだと思っています。まだ目を通していなかった方は、ぜひ学会誌を本棚から引き出してもういちど読み返すか、webでごらんになってみてはいかがでしょうか。プラズマ・核融合学会誌の記事は下記 URL からご覧いただけます。(成嶋)

<http://www.jspf.or.jp/journal/current.html>

次回2月号は2月25日発行の予定です。お楽しみに。

【2月号予告】

小特集 宇宙気候学

講座 プラズマプロセスを用いた炭素材料合成の実際と産業利用における課題